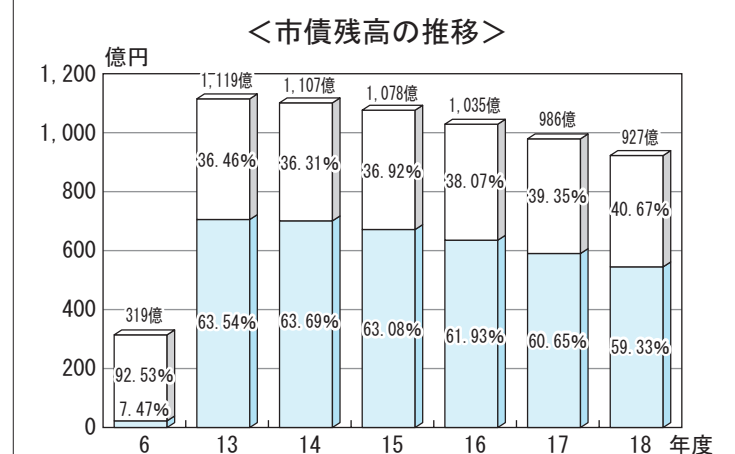


市民1人あたりで見ると
平成18年度 歳出決算額

総務費 70,819円	民生費 78,938円	衛生費 36,690円	土木費 67,201円
消防費 11,715円	教育費 45,883円	公債費 132,094円	その他 5,938円
合計 449,278円			

※歳出決算額を市民1人あたりで見ると(歳出決算額を平成19年3月31日時点の人口で割ると)、449,278円となります。
やはり公債費が目立ちますが、そのような状況の中でも福祉等に使われる民生費や教育費等の予算については毎年一定額以上配分するように努めています。

市債残高について



※グラフの数値は各年度の構成比
□震災関連以外 □震災関連

市の借金にあたる一般会計の市債残高については、震災関連事業の実施に伴い急増し、ピーク時の平成十三年末には一千九百九十九億円に達しました。しかし、震災関連事業が一段落したことにより、平成十四年度以降減少に転じ、十八年度末残高は前年度と比較して五十八億円減少し、九百二十七億円となっています。
九百二十七億円の内、五百五十億円(59.3%)は震災関連の借入れとなっており、財政的には震災の影響が現在も続いています。今後も、新たな市債の発行(借換えを含む)は必要最小限にとどめ、平成二十二年度末には、市長の公約である市債残高六百億円を目指します。

第53回市民寄席 「ざこば・南光・小米朝 三人会」

■日時 11月16日(金)午後6時30分開演
■入場料 前売 3,000円
当日 3,500円(全席指定)
■出演 ざこば・南光・小米朝・雀喜・そうば
■演目 未定(当日のお楽しみ)
※未就学のお子さんの入場はお断りします。
＜チケット販売＞※9月19日(水)から、下記で販売します。
市民センター事務所、市民センター内グランドホール、大蓄、ローソン・チケット(Lコード59634)、市役所内売店



問い合わせ 市民センター事業担当 ☎31-4995



◆平成18年度 一般会計決算概要のお知らせ◆

財政健全化を目指し、連続黒字を達成

新たな財政問題—税制改革による市民税の減収

問い合わせ 財政課 ☎38-2011

歳出

平成十八年度の一般会計歳出決算額は四百十二億七千二百五十九千円で、前年度に比べ、七億九千七百九十万六千円(2.0%)の増加となっています。各費目の決算額については、次のとおりです。

【総務費】 市役所全体の事務費や税金の徴収、戸籍および住民票、選挙等に要する経費で、二十億三千四百七十万円(△23.8%)減の六十五億五百四十万二千円となりました。

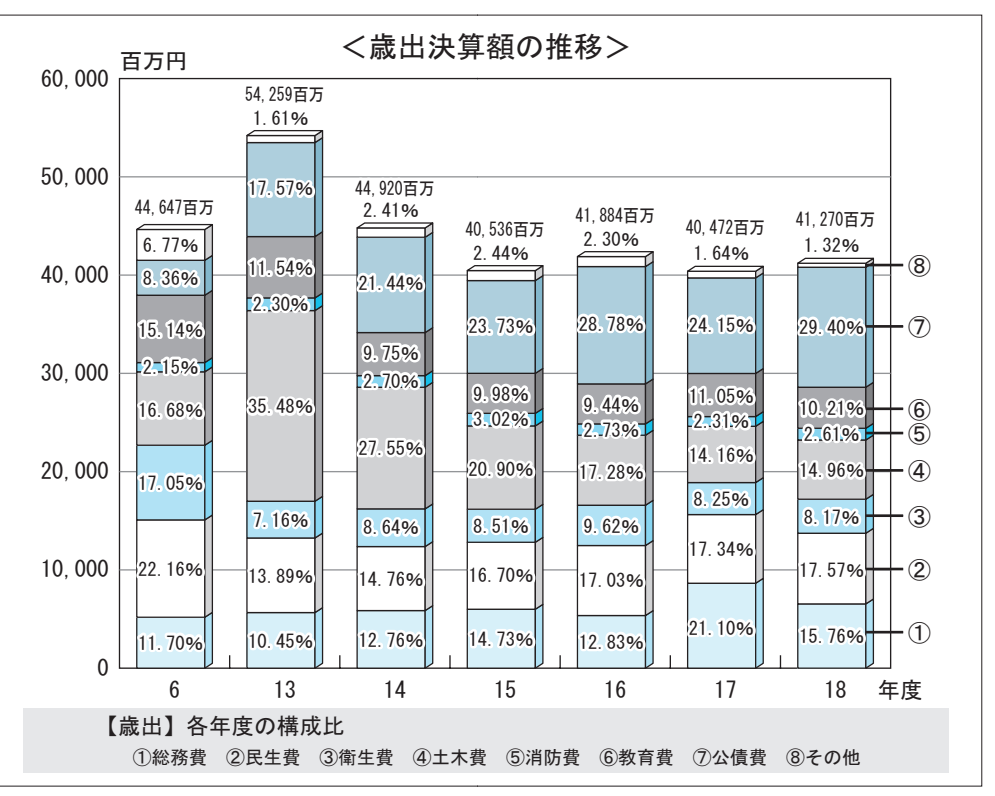
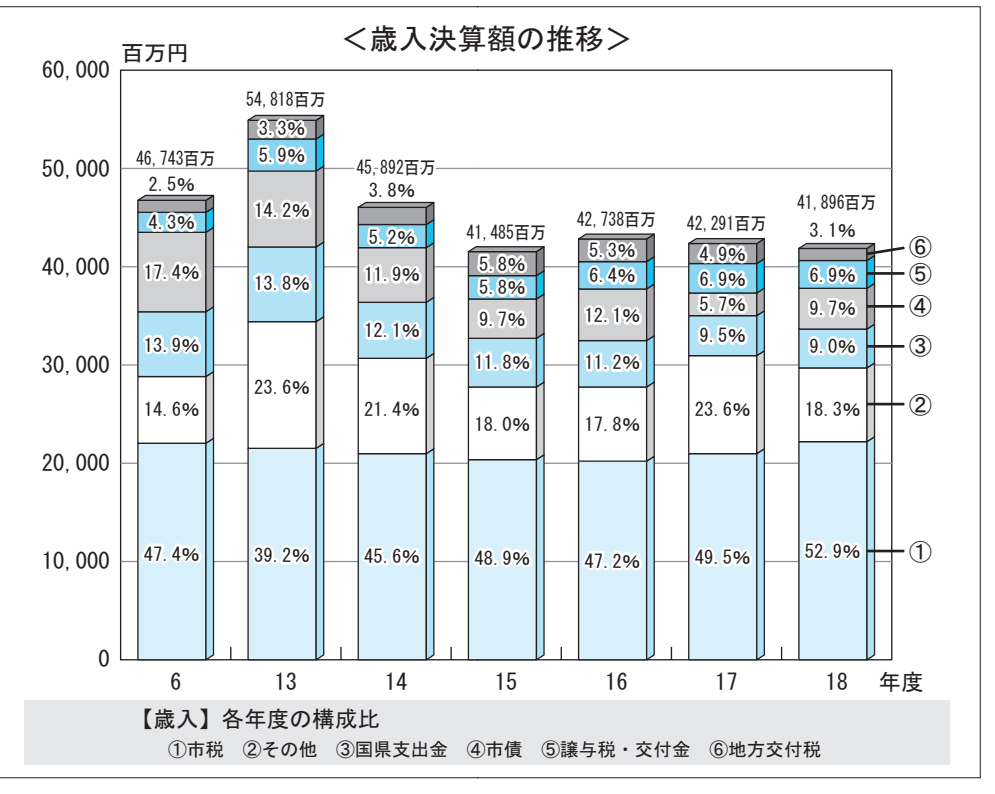
【民生費】 福祉等に要する経費です。福祉等には、前年度に比べ、二億三千八百八十三万円(3.3%)増の七十二億五千四百七十七千円となりました。

【衛生費】 保健やごみ処理等に要する経費です。三千七百六十八万八千四百〇九円増の三十三億七千二百八十八万六千円となりました。

【土木費】 道路や都市計画、公営住宅等に要する経費です。南芦屋浜の公園用地の取得費等により、四億四千三百二十七千円(7.7%)増の、六十一億七千三百五十六千円となりました。

【消防費】 消防・救急や、災害対策に要する経費です。一億四千八十万二千円(15.1%)増の、十億七千六百九十七千円となりました。

【教育費】 学校や幼稚園、その他社会教育に要する経費です。二億五千六百十万三千円(△5.7%)減の四十二億一千四百七十七千円となりましたが、こ



平成18年度の主な事業

- 地域の防災リーダーとして、防災士の育成や自主防災組織活性化へ向けた活動費の助成
- 防災拠点施設としての機能強化を図った、新消防本部庁舎建設のための実施設計(平成19年度着工予定)
- AED(自動体外式除細動器)を、主だった公共施設や中学校に増設
- 精道小学校校舎等改築工事を、引き続き実施(平成19年度完成予定)
- 地域における総合的な窓口相談機能を備え、介護予防や包括的・継続的マネジメント等の支援を行う「地域包括支援センター」を創設
- 「のびぎく兵庫国体」の開催に伴い、本市ではスポーツ芸術・ライフル射撃競技・カヌー競技を実施

歳入

平成十八年度の一般会計歳入決算額は四百十八億九千五百九十八万三千円で前年度に比べ三億九千四百五十二万九千円(△0.9%)の減少となりました。

歳入のうち最も多いのは、市民の皆さんに納めていただいた市民税・固定資産税などの市税収入で、歳入全体の約半分(52.9%)を占めています。

前年度との比較では、個人市民税が給与所得の伸びや税制改正により増加したこと等により、十二億四千三百三十一万四千円(5.9%)増の二百二十一億六千七百九十三万四千円となりました。

【譲与税・交付金】 自動車重量税や地方消費税交付金、地方特例交付金等です。二百三十八万五千円(0.1%)増の二十九億

18年度の実質黒字は 3億9千362万円に

平成十八年度については、歳入総額から歳出総額を差し引いた額から、十九年度に繰り越して実施する事業にあつては、財源を控除した実質的な黒字額は、三億九千三百六十二万一千円となりました。

しかしながら、税制改正における平成十九年度以降の個人市民税の6%比例税率化の影響により、市税収入が大幅な減収となるなどの新たな財政問題が生じてきており、引き続き、財政運営については慎重に対応してまいります。

また、平成十七年度の黒字額十五億二千二百九十九万二千円から比べると、大幅に黒字額が縮小していますが、これ

は多額の市債借入金の償還期日が到来したため、その返済で公債費が増えたこと等の影響によるものであり、前年度と比べて財政状況が悪化した訳ではありません。

黒字額については、今後の財政運営に支障が生じないよう、財政基金および減債基金への積立等に使用します。

【国県支出金】 国や県から交付される、補助金や負担金等をいいます。

平成十八年度は、前年度と比べ、二億一千八百二十二万六千円(△5.5%)減の、三十七億八千二百二十二万四千円となりました。

【市債】 いわゆる借入金です。前年度と比べ、十六億四千七百九十九万(六十七.8%)増の四十億七千八百十万四千円となりましたが、これは十七年度には無かった借換債の発行が十八年度には行われたためです。

【その他】 上記以外の収入で、寄付金や手数料収入等です。前年度と比べ、二十三億七百七十五万九千円(△23.1%)減の、七十六億五千八百六十六万三千円となりました。

これは、財産収入等で、前年度の用地売却等の収入が減じたことによるものです。

平成18年度 決算のあらまし

項目	説明	金額(千円)
①歳入総額	1年間の収入の総額	41,895,983
②歳出総額	1年間の支出の総額	41,270,259
③歳入歳出差引(①-②)	収入から支出を引いた額	625,724
④繰越財源	平成19年度継続事業に充てるお金	232,103
⑤実質収支	実質的な黒字額(③-④)	393,621

市民ステージ参加団体の募集

来年度の「市民ステージ事業」に参加を希望する団体を、次のとおり募集します。この事業は、市民1人ひとりが参加できる文化活動の拠点づくりの一環として、グループ・団体等の日ごとの成果を発表する場を提供し、市民の手による声屋の文化および文化活動の高揚を図るため実施するものです。

■内容 平成20年10月17日から11月16日のルナ・ホールの空き日を、市民の文化活動の成果発表の場として提供します。本番会場使用料は、市が負担します。

■対象 市民が主体となっている団体

■方法 市民センターに置いてある「募集要項」をご覧ください、希望されるかたは9月28日(金)までに、申請書を下記へ提出してください。

問い合わせ 市民センター ☎31-4995

オータムフェスタ2007 《総合公園の秋まつり》

【フリーマーケット出店募集】

■日時 10月21日(日) 午前10時～午後3時30分

■会場 総合公園芝生広場

■参加費 1ブース(3m×3m)1,000円

■申し込み 10月9日(火)までに、住所・氏名・電話番号・ファクス・希望ブース数を記入し、ファクスで、総合公園内「PMOあしや楽市楽座事務局」へ

オータムフェスタ2007

■日時 10月21日(日) 午前10時～午後4時

■会場 総合公園

＜内容＞スポーツ交流・楽市楽座・イベント・防災コーナーほか

【花苗交換会】＜申し込み不要＞

挿し木、株分け、種まきなどで増えてしまった植物を皆さんで交換しませんか?

■日時 10月21日(日)午前10時～

*苗がなくなり次第、終了します。

■内容 物々交換の要領で、1鉢(ポット)と1鉢(ポット)の花苗を交換

*花苗は、当日搬入してください。

ーリサイクルの輪を、植物を通して広げましょー

問い合わせ 総合公園管理事務所 ☎25-2023/FAX 25-2026

問い合わせ 緑の相談所 ☎34-0031